

今回の増床希望に対する個別の事項について

2040年頃を見据えた今後の方向性について

「新たな地域医療構想に関するとりまとめ」(R8.3.19)より抜粋

1. はじめに(新たな地域医療構想について)

(前略)

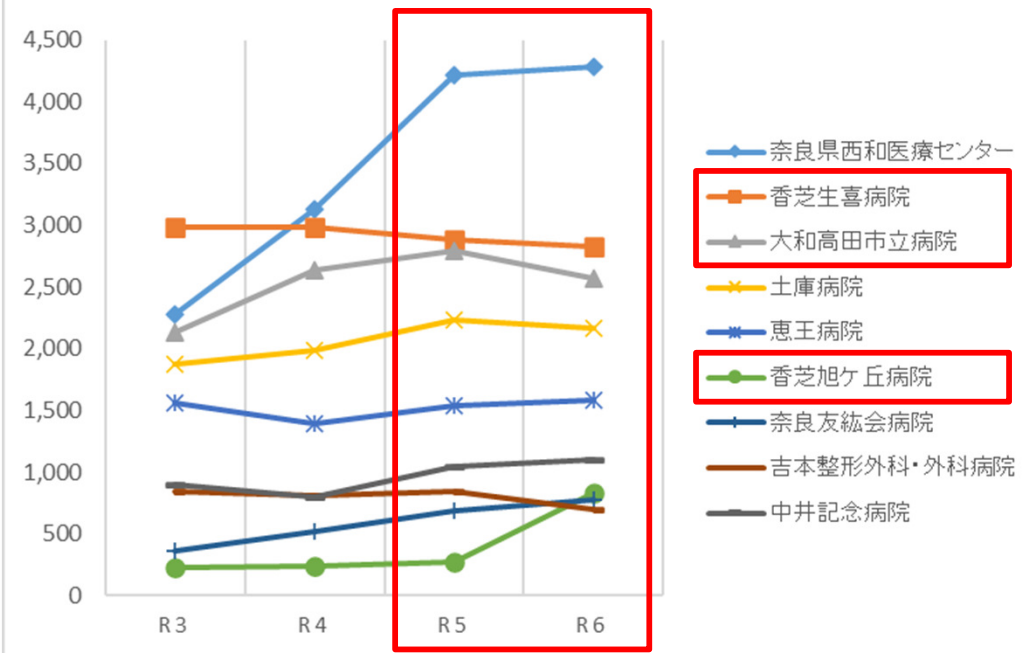
- 今後、2040年頃にかけて、医療と介護の複合ニーズを抱える高齢者や認知症高齢者の増加と生産年齢人口の減少が一層見込まれ、医療従事者の確保がますます困難となることや、急性期医療の需要の減少、高齢者救急・在宅医療のニーズの増加が進むことが想定される。
- 全ての地域・全ての世代の患者が、適切に医療・介護を受けながら生活し、必要に応じて入院して、日常生活に戻ることができ、同時に、医療従事者も持続可能な働き方を確保できるよう、新たな地域医療構想における取組を通じて、**医療機関の連携・再編・集約化等を進め、2040年を見据えた効率的かつ効果的な医療提供体制を構築していく必要がある。**

(後略)

県によるデータ分析の結果と考察(①香芝市周辺の救急搬送の状況)

- 香芝旭ヶ丘病院はR6年度から救急受入体制を強化し、件数が増加。R7は2千件超となる見込み。
- 一方で、現状では、現時点でベッド満床によるお断り(不応需)の件数は多くはない。
- また、一般的に冬期は患者が増え、病床や救急搬送がひっ迫しがちとなるが、令和7年の年末から令和8年の2月頃に掛けて、中和医療圏の西側や医大のERにおいて、搬送が著しく滞るような事象は確認されていない。

救急車の受入件数(病床機能報告)



大和高田市立病院、香芝生喜病院が減少し、香芝旭ヶ丘病院が増加

香芝旭ヶ丘病院 の不応需理由 (R7.4月~R8.3月)

香芝旭ヶ丘病院	件数	割合 (断り全件に対して)
1_手術中	4	0.57%
2_患者対応中	242	34.67%
3_ベッド満床	58	8.31%
4_処置困難	261	37.39%
5_専門外	93	13.32%
6_医師不在	17	2.44%
7_初診_非かかりつけ	2	0.29%
8_理由不明・その他	21	3.01%
9_(不使用)		0.00%
(空白)※そのほとんどが応需件数	2,120	

香芝生喜病院 の不応需理由 (R7.4月~R8.3月)

香芝生喜病院	件数	割合 (断り全件に対して)
1_手術中	9	1.22%
2_患者対応中	300	40.82%
3_ベッド満床	16	2.18%
4_処置困難	243	33.06%
5_専門外	119	16.19%
6_医師不在	9	1.22%
7_初診_非かかりつけ	4	0.54%
8_理由不明・その他	34	4.63%
9_(不使用)	1	0.14%
(空白)※そのほとんどが応需件数	2,455	

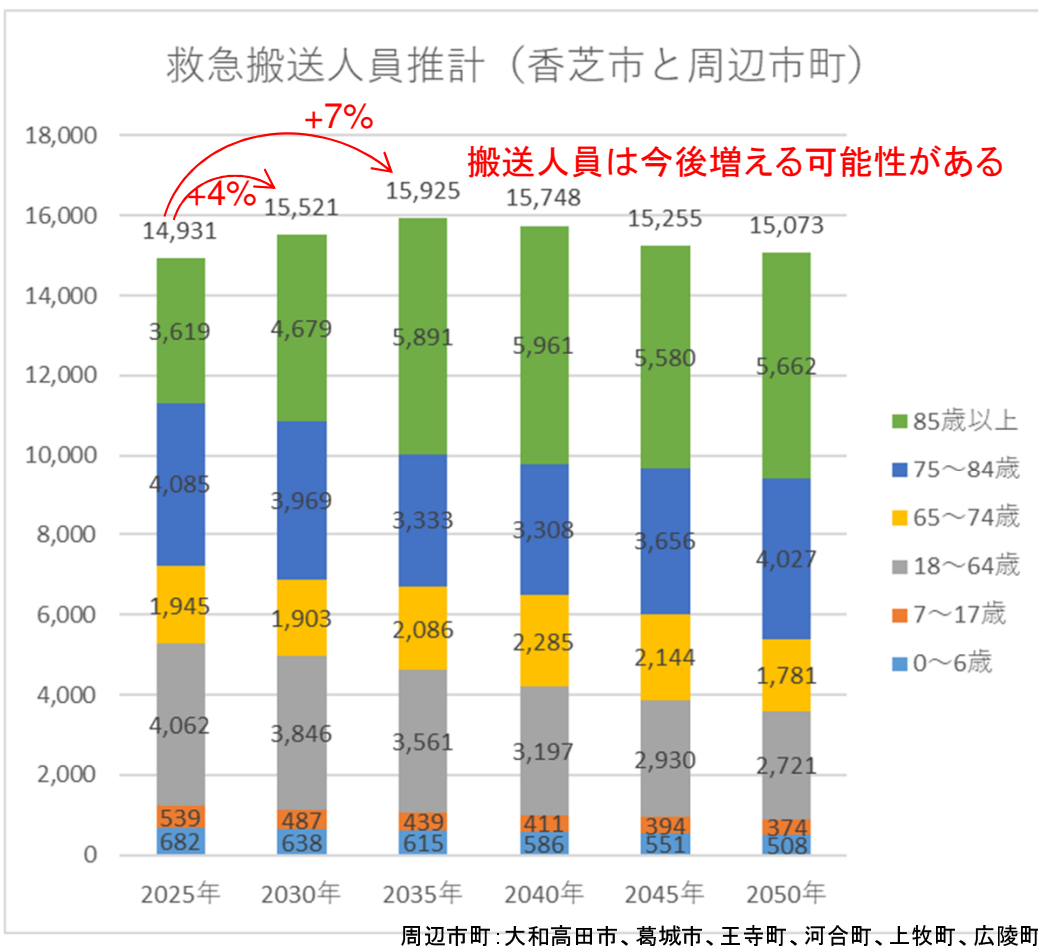
現時点では病床数が足りないことを理由とした受入不可は多くはない

県によるデータ分析の結果と考察(②香芝市周辺の救急搬送の状況)

- ただし、今後は85歳以上高齢者の救急は増加が見込まれており、地域で一定の受入強化は必要となる。
- 香芝高清会病院(香芝旭ヶ丘病院)、香芝生喜病院と類似の病床機能を持つ、近隣の病院の稼働状況を見ると、一定の余力はある。(急性期一般入院料および地域包括医療病棟入院料を届け出ている病棟の実績)

R6年度病床利用率

病院名	病棟入院料	病棟名	許可病床数 (R7.7.1)	病床利用率 (許可病床ベース)
香芝旭ヶ丘病院	急性期一般入院料 1	2階病棟	50	67%
		3階病棟	49	61%
吉本整形外科・外科病院	急性期一般入院料 4	一般病棟	57	86%
香芝生喜病院	急性期一般入院料 4	3階東	45	69%
		3階西	46	77%
		4階東	43	73%
		4階西	45	78%
大和高田市立病院	急性期一般入院料 1	2A病棟	18	79%
		3A病棟	49	74%
		5A病棟	46	80%
		2B病棟	40	73%
		3B病棟	47	83%
		4B病棟	49	90%
土庫病院	急性期一般入院料 1	2階北	48	89%
		4階	55	91%
中井記念病院	急性期一般入院料 4	2階病棟	35	86%
奈良県西和医療センター	急性期一般入院料 1	南3階	31	62%
		南4階	31	94%
		南5階	54	84%
		南6階	55	85%
		北3階	25	82%
		北4階	51	90%
服部記念病院	急性期一般入院料 4	3階病棟	60	50%
		5階病棟	60	98%
恵王病院	地域包括医療病棟入院料	4病棟	53	69%
	急性期一般入院料 5	6病棟	37	67%
	地域包括2	15	86%	



出典: 地域医療連携課で試算
R6推計人口(総務省)とR6救急車による救急搬送人員(総務省「救急救助の状況」)のデータにより年齢区分別の人口あたり救急搬送人員を求め、社人研の将来人口推計の値を掛け合わせたもの。

団体及び近隣病院・市町村への意見照会について

➤ 目的

申請病院の「増床の必要性」を判断するにあたり、地域の医療提供体制や病床稼働状況等の地域の現状を把握するため。

➤ 照会の概要

・期間

5月12日～5月28日

・照会先

団体：奈良県医師会、奈良県病院協会、奈良県看護協会

（照会内容）医療審議会での議論の内容および申請病院が作成した事前協議書を踏まえた、増床の必要性に関する意見

近隣病院：奈良県西和医療センター、西大和リハビリテーション病院、奈良友誼会病院、服部記念病院、恵王病院、

吉本整形外科・外科病院、関屋病院、大和高田市立病院、土庫病院、中井記念病院

（照会内容）自院の病床利用率や救急車の受入件数、地域での役割分担・連携の状況を踏まえ、今回の申請病院に対する増床の必要性に関する意見

近隣市町：大和高田市、葛城市、香芝市、王寺町、上牧町、広陵町

（照会内容）医療審議会での議論の内容および申請病院が作成した事前協議書を踏まえた、増床の必要性に関する意見

※回答書の添付がない、団体については「特に考慮する事象なし」の意見

➤ 照会結果

資料4のとおり。

本日の協議内容

昨年12月に、「新たな地域医療構想の策定までの間、病床の一律の配分を見送る」との方針を合意した。(資料1参照)

その上で、以下の点を踏まえ、当該医療機関の申請内容について、当該地域における増床の必要性はなお高いといえるか。

- 病床の空き枠が発生した経緯や、2040年に向けた医療政策の方向性
- 県全体および申請医療機関周辺の医療提供の現状
- 近隣病院や市町村・団体の意見

<今後の予定>

- 本会議終了後 申請病院への意向再確認
- 6月下旬 (必要により)医療審議会の開催